

第63回 日本網膜硝子体学会総会

モーニングセミナー3

日時▶2024年12月7日(土) 7:30~8:30

場所▶第3会場(大阪国際会議場 特別会議場)

見たいを診る

“国産”の網膜診断装置の活用法

座長のことば

近年網膜硝子体疾患を鑑別するために、さまざまな網膜診断装置で新しい機能が付加され性能の改善が図られています。撮影されたデータから得られる情報は多種多様になっており、装置の特徴を理解すると同時に診断をしていくために知見を深め、有効活用することが今後の眼科診療の向上につながると思います。今回のモーニングセミナーでは、堀江 真太郎先生(東京科学大学)には病的近視や糖尿病網膜症などの症例、横田 陽匡先生(旭川医科大学)には黄斑疾患、糖尿病網膜症、網膜剥離を中心とした症例についてニデック社の網膜診断装置を用いた読影や活用ポイントについてお話いただきます。

得られた情報をどのように診療に活かすか、明日からの眼科診察に役立つホットな最新情報が伺えるものと楽しみにしております。早朝ではございますが多くの先生方のご来場をお待ちしています。

座長



Taisi Nagao

長岡 泰司先生

旭川医科大学
眼科学講座 主任教授

演者

網膜疾患における Glauvasの使用経験

堀江 真太郎先生

東京科学大学眼科学分野 講師



Shintaro Horie

Miranteの網膜診療と 教育への活用

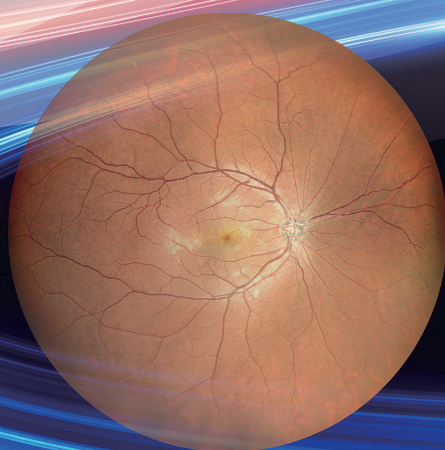
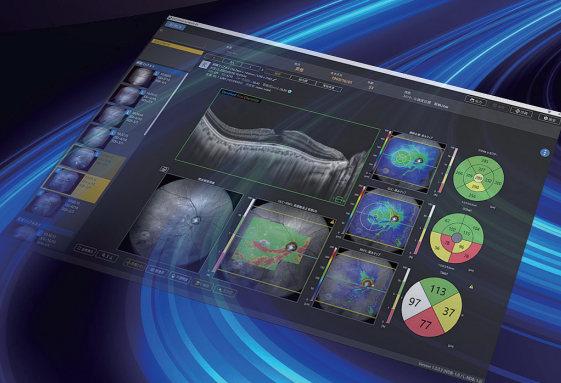
横田 陽匡先生

旭川医科大学眼科学講座 准教授

演者



Harumasa Yokota



共催:第63回日本網膜硝子体学会総会/株式会社ニデック

24網膜セミナー_T01J001